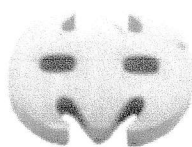


飢肥中でよかった

～ちがいをちからにする学校～



<学校の教育目標のスローガン>

自立・共生・感謝

令和5年2月24日(金)

■立志式が行われました■

2月10日(金)に立志式が行われました。校長先生から「行動の責任」「社会との関わり」「大人としての礼儀」について式辞が述べられ、そして、土屋諒馬さん(1組代表)、田中伊織さん(2組代表)が発表を行いました。その後、「立志の誓い」と「校歌斉唱」を2年生全員で行いました。後半では、テレビやラジオで活躍されている木村つづく氏による「感謝と選択について」の記念講演会と連凧あげが行われました。とても感動した思い出となる式となりました。なお、当日は第3回学校運営協議会議も行われ、委員の皆様からもお褒めの言葉をいただきました。ここでは、立志式での代表生徒の発表を紹介いたします。

【目標】

2年1組代表 土屋 諒馬

僕の目標は、陸上で全日本中学校陸上競技選手権大会に出場することです。この目標ができたのは中学校に入学して、陸上に出会い、本気になって取り組むようになったからです。小学校の頃は、一生懸命に取り組めるものを見つけることができなかつたので、本当に陸上を始めて良かったと思います。

陸上を始めて良かったところは、陸上の面白さや嬉しい気持ち、悔しい気持ちをたくさん経験出来ることです。特に、これまで一番悔しかったことは、2年の夏の県大会の時、決勝でバトンミスをしてしまったことです。すごく悔しくて、このままではいけないと思い、走り方や腕の振りを改善しました。その悔しさをバネに練習し、秋季県大会では、200メートルで県5位になることができました。決勝に残れた嬉しい気持ち半分、表彰台にのぼりたかった、もっと上位にいきたかったという次への意欲が高まりました。

僕は将来、何事も諦めない大人になりたいです。今、毎日の練習の中で、上手い出来ないこともあるけど、陸上を続けています。これからも陸上を通して、いろんな経験をし、日々のきつい練習を乗り越えて、男子みんなと溝口先生、須崎先生と九州大会と全国大会に行くという目標を達成できるように頑張ります。最後に、いつも応援してくれる保護者への感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います！

【未来のために】

2年2組代表 田中 伊織

私は、人に頼られる大人になりたいです。私の将来の夢はゲームクリエイターです。この仕事は、ゲームを作るには絶対に必要な仕事で、人との繋がりや信頼などが大切だからです。

しかし、ゲームクリエイターは、人気もありこの仕事につくのは、大変です。パソコンなどに詳しくないといけません。だから、プログラムの組み方をもっと詳しく勉強し、プログラム技術を磨き、専門的な知識を身につけるために日々精進していきます。

私は、ゲームクリエイターになったら、必ず成し遂げたいことがあります。それは、自分一人で音楽やキャラクターデザイン、オリジナルのシナリオを考え、ゲームを作ることです。そのために、吹奏楽部に入り音楽を学んでいます。未来の自分を思い描き、その自分になるために必要なことを丁寧にかつ要領よく学んでいけるように努力していきます。

私は小学生の頃、話すときに言葉に詰まることや、怒りやすいということで、同級生たちから、からかわれたり、それを面白がる人も居て嫌な思いをすることもありました。しかし、どんなに辛くても、先生方のサポートもあり今ここに立てています。中学生になり、私もそして周りの仲間たちも成長し、大人になり、今では仲のいい友達です。だから、どんなことがあっても人との付き合いを大切にしていきます。日々の生活から相手の距離間や気持ちを考えて行動・発言していきたいです。

最後に、人に頼られる様になるため沢山の事を覚えて人に教えられる様になりたいです。だから、自分や他人をもっともっと知り世界を知っていきたくたいです。未来が楽しみでたまりません！この気持ちを胸に毎日過ごして、未来の自分のために成長していくぞー！！

■SPS認証式が行われました■

2月3日(金)にSPS(セーフティ・プロモーション・スクール)認証式が行われました。当日は、文部科学省・大阪教育大学・飢肥中学校をオンラインで繋いで行われました。SPSとは、WHO地域安全推進協働センターが推進していた学校の外傷予防を目的とした国際的認証活動の1つであり、わが国独自の学校安全の考え方を基盤とする包括的な安全推進を目的として構築された取組です。飢肥中学校のこれまでの安全教育が高く評価された結果です。これからも学校や地域が一体となった安全対策を行っていきましょう。HPに写真を載せていますのでご覧ください。